

農業共済推進委員 説明資料

となみ野地域水田農業推進協議会

1. 令和8年度水稲共済細目書の配布・回収・提出について 【 P3～P4 】

- ・ 1月10日までに確認した異動・改廃は水稲共済細目書に印字しました。
- ・ (平29年度より)全面委託している方の水稲共済細目書は、出力していません。
また、委託圃場はすべて、印字していません。
- ・ 水稲共済細目書記入例(裏面・生産調整実施要領)に従い記入して下さい。

提出期限：令和 8年 2月27日(金)

提出場所：農事組合法人利賀ファーム(百瀬川185)

(令和6年度より、提出先が変わりました。)

- ・ 水稲共済細目書右上の確認者欄に、農業共済推進委員の捺印(4ページ共)をお願いします。

2. 経営所得安定対策とは

- ・ 平成25年度から行われている生産調整の制度の名称です。
- ・ 対象作物を作付し販売した農家に対して、国から助成金が交付されます。
- ・ この対策により助成金を受ける場合は、交付申請書(5月)の提出、営農計画書(6月)の提出、対象作物の面積(7月)の確認、栽培管理日誌と販売伝票等の写し(10月)の提出が必要です。

3. 令和8年度経営所得安定対策の産地交付金について 【 P5 】

① 交付金の対象となる作物

産地交付金の対象となる作物	特産対象の作物
(出荷・販売された) 特産以外の野菜	(出荷・販売された) ホウレンソウ、ミョウガ、白爵カボチャ 赤カブ、たまねぎ、ニラ
	(出荷・販売された) そば

② 交付単価、助成要件

5月に開催するとなみ野地域水田農業推進協議会の定期総会で決定します。

4. 5年水張りルールについて

令和5年度の経営所得安定対策等実施要綱の改正により、「令和9年度以降、過去5年間連続して水稻の作付けが行われていない農地は、交付対象水田から除外する。」と規定されています。

しかし、令和7年度から、”令和7年・8年の対応として、水稻を作付け可能な水田について、連作障害を回避する取組を行った場合、水張りをしなくても交付対象とする。”とされております。

よって、当年はこれまで通りの作付け計画を立ててください。尚、令和9年度には見直しが行われるようですが現在のところ詳細は未定です。詳細がわかりましたらお知らせ致しますので、しばらくお待ちください。また、本件について不明な点がございましたら、当協議会または営農指導員等にご連絡下さい。

令和 8 年度 水稻生産実施計画書(確認野帳)(兼経営所得安定対策営農計画書(申請書)) 兼 水稻共済加入申込書 兼 変更届出書

- 3 -

4枚ともに
推進委員の
印鑑を

利

令和 8 年度 生産調整実施要領

令和 8 年度生産調整の計画策定に当たって、留意点・助成作物等を参考に計画を策定願います。

【 留意点 】

1. 裏面の細目書記入例を一読のうえ、正確に記入してください。
2. 作物の作付け変更が生じた場合は、別紙用紙にて連絡願います。
3. 産地交付金の単価や体系は、となみ野地域水田農業推進協議会の定期総会後にお知らせします。
4. 助成金を受け取るには、作付圃場地図・寸法図(5月)、現地確認(6月)並びに、出荷・販売を証明する伝票等の写し(10月)と栽培管理日誌(10月)の提出が必要になります。
5. 麦、大豆、飼料作物、そば、加工用米、飼料用米、米粉用米等は、播種前契約書が必要です。

【 助成作物&認定作物 】

- 麦、大豆、飼料作物
- そば
- 特産振興作物（以下の作物で、出荷組織の構成員として作付けしている事）
 - ・井波「球根、里芋、白葱、ニラ、玉葱、菊、小松菜、梅、林檎、リンドウ」
 - ・福野「球根、里芋、白葱、ニラ、玉葱、菊、小松菜、スイートコーン、林檎、リンドウ」
 - ・利賀「そば、ハウレンソウ、ミョウガ、白爵カボチャ、赤カブ、玉葱」
- その他の出荷販売作物（＝特産振興作物以外の出荷作物）
- （一般米と区別し）加工用米として出荷する米
- 新規需要米、新市場開拓用米

【 認定作物等 】

- 地力増進作物、自家菜園、永年性作物、景観作物
- 調整水田
- 自己保全管理
- かい廃、補償田、被災田など
- （一般米と区別し）備蓄米として出荷する米

【 認定されない場合がある作物等 】

- 調整水田で1ヶ所が1a(100㎡)未満、額縁型、複数型は認定されません。
左図は、悪い例です。
- 9月末までに、「は種」又は「定植」が終了していない作物は認定されません。

詳しくは、以下にお問い合わせ下さい。

となみ野地域水田農業推進協議会 TEL:22-4720 FAX:22-4728

E-mail: inatofu@p1.coralnet.or.jp

HP: <https://www.tonamino-suidenkyo.com/>

【 裏面の細目書記入例を一読して下さい。】

**調整水田(部分)
記入上の注意!**

※認められない調整水田の例

※水稲は畦畔に接した状態で作付けしてください。

※1ヶ所が1aに満たない場合は転作カウントになりません。

1a とは 100㎡です。 （例：10m × 10m = 100㎡ = 1a）

×額縁型

×額縁型

×複数型

1ヶ所1a未満
額縁・複数型
辺の長さの合計が
畦畔の長さの合計以上

計	15,000円～24,000円	15,000円	15,000円	2,000円	15,000円	6,000円 ～ 24,000円		
二 毛 作	県 8-2 大豆生産性向上・拡大助成 9,000円	産地交付金（白色）・令和 8 年 3 月支払い予定				県 5 園芸作物 二毛作助成 6,000円		
	県 1 特産作物等 二毛作助成 15,000円	県 1 特産作物等 二毛作助成 15,000円	県 1 特産作物等 二毛作助成 15,000円	と 14 土づくり 助成 （麦、たまねぎ、球根あとに限る） 2,000円	県 1 特産作物等 二毛作助成 15,000円	と 13 二毛作 助成 〔麦、たまねぎ、球根あとに出荷する にんじん、キャベツ、カブ ブロッコリー、カリフラワー 特産たまねぎ 18,000円〕		
計	35,000円 ～ 62,000円	55,000円 ～ 114,000円	55,000円 ～ 108,000円	20,000円 ～ 36,000円	2,000円	10,000円 ～ 53,000円	20,000円 ～ 50,000円	18,000円 ～ 55,000円
基 幹 作	県 8-1 大豆生産性向上・拡大助成 9,000円	⚠ 注意 ⚠ ・これらの助成や加算は予定額であり、変更になる場合があります。 ・これらの助成や加算を受けるには、12月末日までに栽培履歴簿と販売伝票等の写しの提出が必要になります。 ・単価は、10a当たりです。 ・県設定単価は未定ですので、（当初）単価を表記しています。				県 9 新市場開拓用米 複数年契約 加算 3,000円 継続年（2年目、3年目）に限る	と 2 井波地区 球根・さといも・白ねぎ たまねぎ・菊・リンドウ・にら 小松菜・梅・林檎 （特産出荷団体に加入） 福野地区 球根・さといも・白ねぎ たまねぎ・菊・リンドウ・にら 小松菜・林檎・スイートコーン （特産出荷団体に加入） 利賀地区 おレンコ・ミカド・赤あじ 白爵あじ・たまねぎ にら・そば 特産作物 加算 30,000円	と 12 1ha以上 土地利用集積 加算 7,000円 と 2 井波地区 球根・さといも・白ねぎ たまねぎ・菊・リンドウ・にら 小松菜・梅・林檎 （特産出荷団体に加入） 福野地区 球根・さといも・白ねぎ たまねぎ・菊・リンドウ・にら 小松菜・林檎・スイートコーン （特産出荷団体に加入） 利賀地区 おレンコ・ミカド・赤あじ 白爵あじ・たまねぎ にら・そば 特産作物 加算 30,000円
	（園地 加算）（担い手集積加算） と 11 1ha以上（園地 加算） 6,000円 と 6又10 20ha以上 1,000円 と 5又9 10ha以上 2,000円 と 4又8 5ha以上 4,000円 と 3又7 3ha以上（担い手集積加算） 6,000円	県 3 米粉用米 拡大支援 9,000円	県 4 飼料用米 拡大支援 3,000円	と 17 加工用米 拡大加算 6,000円	と 16 新市場開拓用米 助成 10,000円	と 15 そば作付 助成 20,000円	と 1 出荷する 高収益作物 野菜、花卉・花木、果樹 （果樹は植栽後5年以内） 18,000円	
作 物 名	戦略作物助成（黄色）・令和 7 年 1 1 月 2 6 日支払い 畑作物産地形成促進助成（水色）・令和 7 年 1 1 月 2 6 日支払い コメ新市場開拓等促進助成（水色）・令和 7 年 1 1 月 2 6 日支払い							
	畑作物産地形成促進 助成 40,000円 戦略作物 助成 35,000円 麦・大豆	コメ新市場開拓等 促進 助成 90,000円 （専用品種） 戦略作物 助成 （収量に応じて、品種に応じて） 55,000円 ～ 105,000円 米粉用米 （新規需要米）	戦略作物 助成 （収量に応じて、品種に応じて） 55,000円 ～ 105,000円 飼料用米 （新規需要米）	コメ新市場開拓等 促進 助成 30,000円 戦略作物 助成 20,000円 加工用米	と 18 地力増進作物 拡大加算 2,000円 地力増進作物	コメ新市場開拓等 促進 助成 40,000円 輸出用米 （新市場開拓用米）	と 18 地力増進作物 拡大加算 2,000円 地力増進作物	

《 注意 》

- これらの助成や加算は予定額であり、変更になる場合があります。
- これらの助成や加算を受けるには、12月末日までに栽培履歴簿と販売伝票等の写しの提出が必要になります。また、播種前契約や部会加入などの条件が付加されている場合があります。
- 単価は、10a当たりです。
- 県設定単価は未定ですので、（当初）単価を表記しています。

麦・たまねぎ・球根あどに
作付した場合
産地交付金が
麦・たまねぎ・球根の
耕作者に
支払されます。